

今年度の反省と今後の方向性について

平成 26 年 1 月 23 日 (木)

新浜小学校 研究推進部

○ 4 つの柱の活動内容と反省。

・ 体力づくり

年間指導計画の見直しや環境整備（掲示物）、学習カードの統一、本校で体育科の研修会を行った授業研究(講師依頼)などを行った。



来年度も年間指導計画の見直しを行う。
教材研究や物品の購入
かかわりあい、学び合いを軸に授業を展開したことで技能も伸びた

・ 保健

環境整備（掲示物）や委員会活動と協力、授業研究



年間指導計画の見直しができなかったので、来年度は見直す。
睡眠時間をとっている児童が多いこと、余暇の時間の使い方を工夫すれば生活が改善されることが分かった。
3 年生より下の学年の授業展開が難しい。
保健を軸に研究を進めるのは厳しい。
全校に広まるような授業や内容になっていたのかが疑問

・ 食育（給食）

給食の掲示板、授業研究



学年で取り組みたかった。
食育として見えたこともあったけど、研究を 1 つに絞って取り組む方がよい。

・ 安全

防災訓練、避難訓練等を行った。



来年度に「おかしも」の掲示を作り、教室に掲示するか検討中
研究として進めていくのは、難しい。

○今後の方向性について

今年度は、4つの部に各学年が入るように体制を取り、各部で目標を考え、取り組んできた。4つに分かれたことで体制が難しく、うまく機能ができていなかった。しかし、新しいことに取り組んだことで健康教育としてやるべきことが見えたはず。

4つの部に分かれるのではなく、体育科に絞って取り組む。技能ではなく、友だちとのかかわり合い、学び合いを中心に進めていく。子どもの実態から知的の差があること、誰でも参加できること、体育が好きな児童が多いことなどからも体育科にする。子どもたちにアプローチしやすいのは、体育科
学ぶニーズが高い、